

鳥取県地域医療介護総合確保基金

鳥取大学医学部附属病院

在宅医療推進のための看護師育成プログラム

Ⅱ 在宅医療・看護体験コース

令和6年度 II在宅医療・看護体験コース

【目的】 3年目以上の看護職（准看護師を含む）、未就業の看護職経験者が、在宅で生活できるための具体的な患者支援方法について体験し、実践することができる

【目標】 体験実習により、患者の生活をイメージする力を養成する。

- 1.退院後の患者の生活をイメージする力を養成する。
- 2.在宅療養者及び家族に対して果たす役割・機能・特性を理解する。
- 3.患者が療養の場を移行する際に、看護の継続性を重視したマネジメントができる。

令和6年度 II在宅医療・看護体験コース

| | | |
|---------|-------|---|
| 第1回集合研修 | 日 時 | 令和6年 6月26日 (水) |
| | 会 場 | 鳥取大学医学部アレスコ棟1階 211講義室 |
| | ね ら い | ・訪問看護師の役割や、実際の業務について学ぶ ・介護保険のサービス利用に至る過程や、在宅医療体制の中での訪問看護の役割を学ぶ |
| | 研修内容 | <p style="text-align: center;">(10時50分～12時20分)</p> <p>○講義 訪問看護師の役割・機能・特性 <実践コース・IIコース・IIIコース合同></p> <p style="text-align: center;">◇^{すずき たえ}鈴木 妙 : 鳥取県訪問看護支援センター 所長 (在宅ケア特定認定看護師)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">(13時30分～15時00分)</p> <p>○講義 医療保険・介護保険の仕組み</p> <p style="text-align: center;">◇^{いけだ のぶお}池田 伸夫 : 北栄町福祉課地域包括支援センター センター長</p> |

| | | |
|---------|-------|--|
| 第2回集合研修 | 日 時 | 令和6年8月1日 (木) 13時30分～15時30分 |
| | 会 場 | 鳥取大学医学部アレスコ棟6階 261講義室 |
| | ね ら い | 多職種連携の中でみえる地域での看護師の役割を学ぶ |
| | 研修内容 | ○講 義 「安心して在宅で暮らすために～在宅看護の力～」 ○グループ討議 「地域を見据えた退院支援を進める為に今、実践する事」 |
| | 講 師 | ◇ ^{せお ゆうじん} 瀬尾 勇仁 : ホームベースドケア訪問看護ステーション 管理者 |

＊退院後家庭訪問実習＊

| | | |
|--------|-------|---|
| 実 習 | 日 程 | 令和6年 7月～10月 (所属部署管理者と相談のうえ、調整してください。) |
| | ね ら い | 入院・入所中に退院支援を行った患者に対して、退院後訪問を行い、実際の在宅療養生活を理解するとともに、自己の看護実践を振り返る。 今後の施設内での看護に必要なことは何かを明確にし、より専門的に個別性をふまえて退院に向けての支援を計画できる能力を養う。 |
| | 実習方法 | 退院支援を行った事例の中から、在宅療養者の了承を得て家庭訪問を行う。 ※訪問対象者、訪問時期、訪問形式等はそれぞれの所属部署管理者 (看護師長など) と相談して決定してください。 *対象 (事例) に困られた場合は、T-HOC 支援室へご相談ください。 |
| | 課 題 | ◆退院後家庭訪問実習レポート ※実習要項参照 |

＊訪問看護ステーション実習（3～5日間）＊

| | | |
|--------|-------|--|
| 実 習 | 日 程 | 令和6年 7月～10月 |
| | ね ら い | 家族を含めた利用者に対し専門的知識と個別性を踏まえた支援の展開を知る。 訪問看護師として多職種と協働する必要性や役割を理解できる。 |
| | 実 習 先 | 東・中・西部の指定した訪問看護ステーション ※実習要項参照 |
| | 課 題 | ◆訪問看護ステーション実習レポート ※実習要項参照 |

| | | |
|-------------------------------------|-------|---|
| 第 14 回 T-HOC 特別 セミナー | 日 時 | 令和6年9月28日（土） 10時00分～ 15時00分 |
| | 会 場 | 伯耆しあわせの郷 （倉吉市小田458） |
| | ね ら い | T-HOC 受講生と総合診療医、医学生および看護学生、地域の行政が対話し、地域における医療従事者の専門性や医療看護の現状・課題を理解し、相互に連携できる関係づくりを目指す。 |
| | 研修内容 | パネルディスカッション、ワークショップ |
| | 講 師 | パネリスト 門脇 智尋：訪問看護ステーション博愛 作埜 吉美：訪問看護ステーションほんわか 中原 裕子：訪問看護ステーションせいゆ 報告 安住 朋代：鳥取県ナースセンター コーディネータ 提言 井上 和興：大山診療所/鳥取大学医学部地域医療学講座 |

<Ⅰコース（1年次）・Ⅱコース合同>

| | | |
|---------------------------------|------------------|--|
| 第 3 回 集 合 研 修 | 日 時 | 令和6年10月16日（水）13時00分～15時00分 ・当日オンデマンド視聴：13時00分～14時00分 ・グループ討議（対面60分）：14時00分～15時00分 |
| | 会 場 | 鳥取大学医学部記念講堂 |
| | ね ら い | 訪問看護ステーションへ出向した看護師から、在宅生活志向への広がりを持った退院支援について学ぶ |
| | 研修内容 | ○講 義（会場にて動画視聴（45分～60分）） 「訪問看護ステーションの出向から見た病院看護師の退院支援」 ○グループ討議「事例を通して退院支援に向けて自分はどう動けばいいか考えよう」 |
| | 講 師 | ◇池田 章幸：訪問看護ステーションネットケア |
| 課 題 | HOCノート P.8～9 を記入 | |

<Ⅱコース・Ⅱコースに興味のある看護師合同>

| | | |
|-----------|--------------------------------|---|
| 実習後の意見交換会 | 日 時 | 令和6年12月19日(木) 13時30分～15時30分 |
| | 会 場 | 鳥取大学医学部アレスコ棟6階 261講義室 |
| | ね ら い | 実習で学んだことを、他の実習先で学んだ受講生と情報交換をし、学びを深める。 |
| | 研修内容 | «報 告» 実習を通しての学びと感想 «グループ討議» 実習での経験をどう継続看護に活かすか |
| アドバイザー | ◇ 坪倉 真由 : すまいる訪問看護リハビリステーション所長 | |

| | | |
|-----------------|-----|---------------------------------|
| 第15回T-HOC特別セミナー | 日 時 | 令和7年3月15日(土) 10時30分～12時50分 (予定) |
| | 会 場 | 鳥取大学医学部 記念講堂 |
| | 内 容 | テーマ (未定) 講 師 (未定) |

Ⅱコース受講生に関するページは右記のQRコードから確認してください。➡

